

宇野夏樹 3 連覇！

ジュニアチャンピオン大会 2007 年 1 月 21 日 埼玉県日高市

木村佳司

普及への取り組み・・・多摩 OL の示す答えがこの大会にある。



ジュニア 3 連覇を飾った宇野夏樹

宇野兄弟でワンツー

昨年引き続きジュニアチャンピオン大会は宇野兄弟が 1 位と 2 位に入った。今年は激戦だった。弟の宇野俊介に秒差まで詰められただけでなく、東海高校の堀田や桐朋勢にもすぐ後ろまで寄られている。

昨年のジュニアチャンピオン大会では宇野夏樹が 2 位を大きく引き離して優勝を飾ったが、その時とは状況が

なり変わっているようだ。

JME - 3300m 270m		
1	宇野夏樹	0:42:17 武相
2	宇野駿介	0:42:56 武相
3	堀田 遼	0:44:15 東海
4	細淵晃平	0:44:21 桐朋
5	福井直樹	0:45:03 桐朋
6	関山 啓	0:47:15 麻布学園

JWE - 2400m 180m		
1	宮川早穂	0:59:31 ES 関東
2	藤田雲母	1:00:50 岐阜 OLC

宮川が初優勝

女子は中学生の宮川早穂が初優勝。2 位の藤田も中学生。2 人ともこれからどん伸びて行って欲しい。

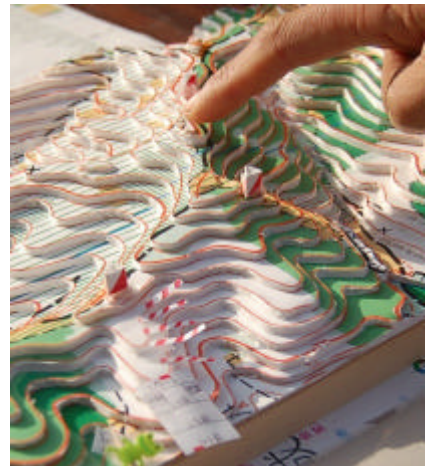
全国的に高校のオリエンテリングクラブが男子部員ばかりなので、女子ジュニアの競技人口は極めて少ないのが現状だ。

初心者に優しい大会

ジュニアチャンピオン大会は初心者の比率が高い。実際にアドベンチャーレーサーのいでたちをした者やハイキング姿の子供が多い。この大会は多摩 OL が示す普及事業のひとつの形だ。

ジュニア層、マラソン愛好家、アドベンチャーレーサーに呼びかけて、とにかくなるべく多くの人にこの大会に

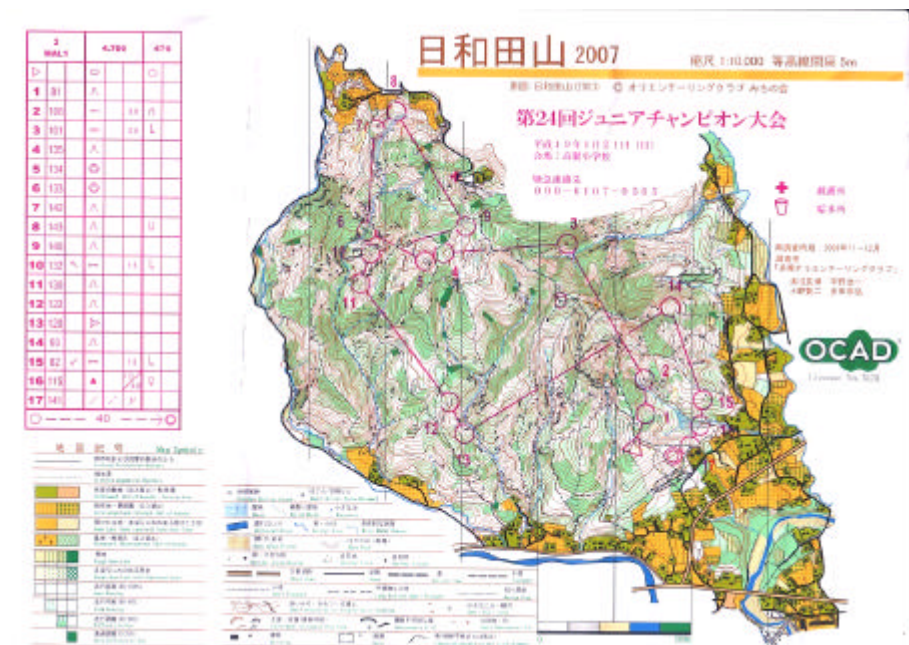
参加していただく。そして足を運んでもらった初心者に対して厚いケアを行う。こうしてオリエンテリングの理解者や競技者を少しでも増やしてゆきたいという姿勢が、この大会からは感じられる。



立体地図を使った初心者説明。手作り感が伝わってくる。

ジュニアの No.1 を決めるだけでなく、歴戦の経験者も満足できる高品質でタフなコースだって用意されている。今回私は最上位クラスに参加したが、厳しいコースながらも満足のレースだった。天気も最高だった。東京の冬のオリエンテリングは楽しい。

(木村佳司)



今回のトレイン日和田山。MAL では距離 4700m、アップ 470m という登坂比率の高いコース。



宇野夏樹のレース解説に集まる参加者たち